

越境する西行、脱領域する西行を「西行学」の名の下に再構築する

Vol.15 Journal of Saigyō Studies

西行学

第十五号



大会講演記録

西行の歌人的評価を巡って ● 田仲洋己
西行伝の周縁としての

三昧堂・三昧僧 ● 山口眞琴

大会シンポジウム記録

「西行の縁——地方からの視線——」

● 橋本美香 / 小堀光夫 / 山本章博 / 小西里沙 / 阿部あけみ

中西満義 / 西澤美仁 / 宇津木言行 / 松本孝三

目次

【大会講演記録】

- 西行の歌人的評価を巡って……………田仲洋己…004
西行伝の周縁としての三昧堂・三昧僧……………山口眞琴…027

【大会シンポジウム記録】

- シンポジウム「西行の縁——地方からの視線——」報告……………橋本美香…045
西行と地名——戻る西行と戻らない西行をめぐる……………小堀光夫…049
西行の史跡——一覧表の作成を目指して……………山本章博…064
高校古典の指導と西行……………小西里沙…078
地方の目線で捉える西行法師——玉野市渋川の縁物語……………阿部あけみ…090

【研究論文】

- 「瑞雲勸進西行谷奉納和歌」、「全独吟和歌」——近世期伊勢での西行追慕のかたち……………中西満義…099
西行和歌「雲取や志古の山路」考……………西澤美仁…113

【研究ノート】

- 「壺のいしぶみ外の浜風」小考——西行『山家集』注解補論……………宇津木言行…131

【西行研究余滴】

- 西行話「いちご問答」を追う……………松本孝三…143
新古今作者・行遍について再考……………宇津木言行…146

【西行ノート】

- 続西行歌碑を増補する(4)——増位山・長船・真鍋島……………山本章博…150

【西行文献目録】

- 西行関係研究文献目録(総合版)二〇一三—二〇一五年……………西行学会編…160
西行関係文献目録(地方文献版)奈良県(4)……………西澤美仁編(左開)…183

- 令和6年度 第15回西行学会大会プログラム……………204 西行学会の記録……………205

- 入会案内……………207 ○投稿規定……………207 ○西行学会会則……………208 ○編集後記……………209

編集後記

昨年開催された岡山の川崎医療福祉大学での大会は、長いコロナ禍の行動制限が終わり、久々に多くの会員が集った。シンポジウムでは、岡山の高校で教鞭を執られる小西氏、また玉野市観光協会の阿部氏にご登壇いただき、西行を通じて地元との密接な交流が実現し、西行学会らしい大会となった。岡山の関係者の皆様には改めて感謝を申し上げたい。

その後、今年の三月には、国際熊野学会との合同例会を西行生誕の地とされる和歌山県紀の川市で開催し、地元の西行愛を肌で感じる事ができた。さらに、四月末には、台湾の淡江大学において、日本文知国際シンポジウムと共催で特別大会を開いた。二〇一九年のタリン大会以来の海外進出であった。紀の川での成果は、国際熊野学会でまとめられ、台湾大会については、次号『西行学』に掲載予定である。

今号は岡山大会での成果を中心に構成される。巻頭の大会講演二本は、西行の政治性を浮き彫りにする。これからの西

行研究の中心課題となっていくであろう。シンポジウムにおいては、教育や観光における西行の可能性が模索された。玉野市での「西行まつり」の実践例、西行が関わる土地での教育の実践例、そのためのデータベース構築の提言が行われた。これに合わせて、表紙には、玉野市・渋川海岸のシンボルである西行法師像を、また、西行ノートでも、岡山の未紹介の歌碑二基を取り上げた。これまで学会は、地方の伝承等の情報を多く収集してきた。この全体像を明らかにすることが急務である。

論文の投稿は、研究論文二本、研究ノート一本であった。査読の結果すべてが掲載となった。研究論文二本は大会での発表を踏まえたものである。いずれも、隣接諸学の成果、また地方文献を駆使した緻密な論である。

前号から新設した西行研究余滴には、二本のご寄稿をいただいた。引き続き多方面からのご寄稿を期待している。

人文学にもデジタル化の波が押し寄せてきている。これまで容易にできなかったような検索が可能になり、研究の幅は

急速に広がっていくであろう。しかし、資料の現物を見て、また現地に行つて確かめることが、基礎データ作成の基本であることに変わりはない。そしてそのおもしろさが失われることは決してないだろう。(山本)

西行学 第十五号

令和六(二〇二四)年九月五日発行

編集 西行学編集委員会

発行 西行学会

(代表委員 橋本美香)

〒701-0193 岡山県倉敷市松島288

川崎医療福祉大学医療福祉学部医療

福祉学科 橋本美香研究室内

saigyojimukyoku@gmail.com

発売 笠間書院

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町

二二二一三 NSビル内

tel 〇三―三二九五一―三三一

fax 〇三―三二九四一〇九九六